

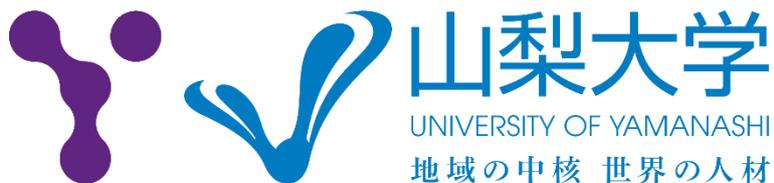
令和6年度

特別選抜

(学校推薦型選抜・総合型選抜)

学生募集要項

工学部

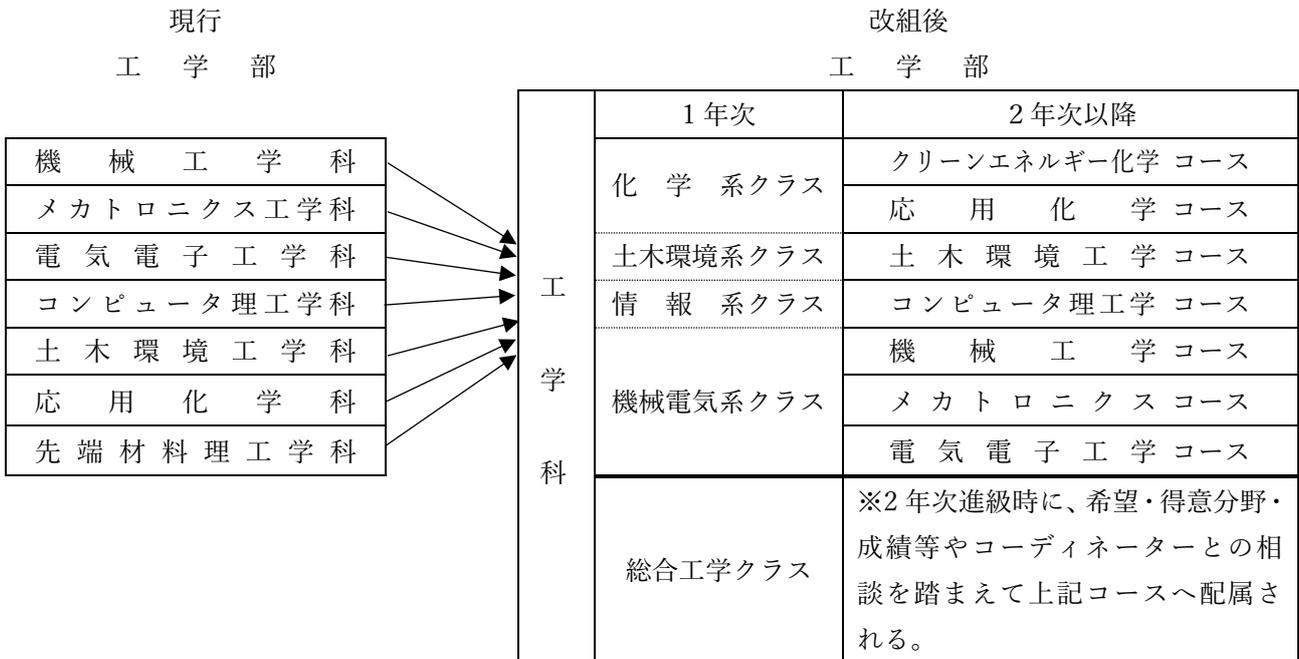


工学部の改組について

1. 改組計画

山梨大学では令和6年4月に、下記のとおり工学部の改組を行います。

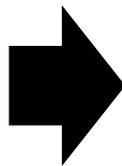
改組の概略図



募集人員

改組前（令和5年度）

工学部	
機械工学科	55人
メカトロニクス工学科	55人
電気電子工学科	55人
コンピュータ理工学科	55人
土木環境工学科	55人
応用化学科	55人
先端材料理工学科	35人
入学定員合計	365人



改組後（令和6年度）

工学部工学科	
クリーンエネルギー化学コース	33人
応用化学コース	33人
土木環境工学コース	46人
コンピュータ理工学コース	75人
機械工学コース	48人
メカトロニクスコース	45人
電気電子工学コース	45人
総合工学枠	40人
入学定員合計	365人

※コース毎の合格者数が募集人員から増減することがあります。

最終的に工学科全体で入学定員を確保する方向で調整します。

※総合工学枠合格者は1年次に総合工学クラスに所属します。

2年次進級時に希望・得意分野・成績等やコーディネーターとの相談を踏まえて、コースへ配属されます。

2. 工学部改組の概要

「地域の中核、世界の人材」という山梨大学キャッチフレーズのもと、工学部では「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」を掲げ人材育成を行ってきました。近年の社会変化は著しく、工学部の人材育成が果たすべき役割も急速に変化しています。例えば、持続可能な開発目標「SDGs」、地方のポテンシャルを引き出し継続的な営みができる社会「地方創生」、IoT やビッグデータ、人工知能等をはじめとする技術革新による新たな社会「Society 5.0」の実現などに向けて、人材育成のポイントも変化・多様化しています。特に、カーボンニュートラルのためのエネルギー問題への取組やデジタル分野への人材輩出は、持続可能な社会を実現するうえでの最重要課題であり、その解決に向けた教育の強化が求められています。

このような背景から、新たな社会へ貢献できる工学系人材を育成するために、令和6年度4月から、大幅な改組を行います。

- 従来の7学科を1学科（工学科）7コースへ再編します。応用化学コース、土木環境工学コース、コンピュータ理工学コース、機械工学コース、メカトロニクスコース、電気電子工学コースのほか、山梨大学が有するクリーンエネルギー分野における燃料電池やエネルギー変換などの国内有数の研究実績を活用した、クリーンエネルギー化学コースを新たに設置します。
- 前述のコースの他に、入学後に進む分野を決定したい、進みたい分野があるが入学後に適性を見極めたい、幅広い工学の知識や技術を学んでから専門の分野に進みたい、というニーズに対応した総合工学クラスを設置します。
- 1年次は合格したコースにより化学系クラス、土木環境系クラス、情報系クラス、機械電気系クラスに分かれ、2年次から合格したコースに所属します。総合工学枠合格者は、1年次は総合工学クラスに所属し、2年次から希望・得意分野・成績等やコーディネーターとの相談を踏まえて配属されるコースに所属します。これにより、進級するに従い基礎から専門に至る体系的な教育を行います。また、転コース等の制度により進路選択を柔軟化します。

3. 各コースの概要

① クリーンエネルギー化学コース

クリーンエネルギー化学コースでは、持続可能な開発を目指し、環境にやさしく高効率にエネルギーを創製し、利用する技術を有した科学技術者を育成することを目的とし、化学の知識とともに、エネルギー変換の基礎となる電気化学やエネルギー材料に関する講義、実験及び演習を含む専門科目により、クリーンエネルギー化学の知識を体系的に学修します。

本コースでの学修により、エネルギー、製造業、交通・運輸など、関連する産業界等でグリーンイノベーションの創出に貢献する技術者・研究者としての活躍が期待されます。

② 応用化学コース

応用化学コースでは、豊かな生活と人類の福祉、持続的発展可能で安心・安全な社会構築を目指し、新しい材料や技術の開発能力を有する化学系技術者を育成することを目的とし、工学系基礎科目である有機化学、無機化学、分析化学、物理化学などの講義や演習、そして応用化学実験に加え、応用科目、特殊科目の科目を履修することにより化学系の専門知識や技術を修得します。

本コースでの学修により、新素材・環境・エネルギー等の分野における技術者・研究者としての活躍が期待されます。

③ 土木環境工学コース

土木環境工学コースでは、土木工学と環境工学に関する幅広い基礎知識・技術を併せ持ち、持続可能な社会の構築に意欲的に貢献できる技術者を育成することを目的とし、専門科目の学修により、自律的かつ継続的学修能力を身に付け、専門分野の基礎的知識を修得し問題解決に対応する能力を養います。

本コースでの学修により、主に社会基盤の整備・充実を担う土木環境分野の企業（総合建設、コンサルタント、道路、鉄道・運輸、電力・ガスなど）や国・自治体（公務員）での活躍が期待されます。

④ コンピュータ理工学コース

コンピュータ理工学コースでは、次世代の高度情報化社会の中核として活躍できる学士力を備え、多様な情報処理技術を身に付けた人材を育成することを目的とし、ソフトウェア工学、ソフトウェア開発プロジェクト実習等の科目を通じてソフトウェア開発に必要な問題解決力を修得するとともに、計算機システム、ネットワーク、人工知能等、様々な分野の複数の科目群によって、それぞれの専門知識を体系的に修得します。

本コースでの学修により、情報通信、製造、交通、医療、農業などの様々な分野での活躍が期待されます。

⑤ 機械工学コース

機械工学コースでは、機械工学に関わる基礎及び専門知識を修得し、それらをものづくりに活用するとともに自然や社会と調和した技術を創造する能力を備えた人材を育成することを目的とし、材料力学、熱力学、流体力学、機械力学等の専門的知識を修得し、機械工学デザインやものづくり実習、機械工学実験を通じて専門的知識をものづくりに活用する能力を養うとともに、発展的な科目を通じて実践的な問題解決力を身に付け、自律的かつ継続的な学修能力を養います。

本コースでの学修により、機械工学やエネルギー工学に関する最先端の技術が求められる自動車、航空宇宙、医療福祉機器、動力エネルギー分野での活躍が期待されます。

⑥ メカトロニクスコース

メカトロニクスコースでは、機械・電気・情報という複数の学問領域を横断的に学び、技術統合されたロボットをはじめとする自動制御システムを構築できる人材を育成することを目的とし、PBLものづくり実践ゼミなどにより問題解決力、コース専門科目（実験・実習科目を含む機械・電気・情報分野の基盤履修科目）により専門知識を修得するとともに、卒業研究などにより自律的かつ継続学修能力を修得します。

本コースでの学修により、主にロボットや医療機器などの技術統合された機械の設計開発、自動車などの輸送用機械や生産用機械などの製造業、電気・情報通信機器などの製造業、情報機器やソフトウェアの開発・運用管理などでの活躍が期待されます。

⑦ 電気電子工学コース

電気電子工学コースでは、電気電子工学に関わる基礎及び、電子デバイス、回路・電力、情報通信という専門的な領域の能力を備えた人材を育成することを目的とし、専門科目への導入として、工学部共通で学ぶ工業数学と電気電子工学分野で多用する数学の橋渡しをする基礎科目を学び、電磁気及び電気電子回路分野に係る科目に加え、電子デバイスまたは情報通信システム分野に係る科目をとおり、専門知識を修得します。

本コースでの学修により、新素材、ナノテクノロジー、太陽電池、エネルギー技術、情報通信など主に地球環境や社会との調和に寄与できる分野での活躍が期待されます。

4. カリキュラムの特徴

- ・各クラス所属学生（1年次生）を対象に、自然科学、社会や文化等の広い教養を学ぶ『全学共通教育科目』を置くほか、新たに『工学基礎科目部門』を設けます。『工学基礎科目部門』には「工学部共通」と

「クラス共通」の区分があり、工学技術者の土台となる基礎知識（工学部共通）と専門家を養成するための基礎知識（クラス共通）を学ぶことができます。

- ・各コース所属後の学生（2年次生以降）を対象に、コースごとの専門分野を軸とした『工学応用科目部門』を設置します。『工学応用科目部門』では、専門分野ごとに基幹となる科目や発展的な科目により、専門的知識や理解力・判断力を修得することができます。
- ・各コース所属後の学生（2年次生以降）を対象に、『工学特殊科目部門』を設置します。『工学特殊科目部門』では、社会適応力や職業意識を育てる「PBL科目」や、各専門分野においてDX実現に資する能力を養う「データサイエンス系科目」を通して、数理データ分析力・問題解決力や社会的倫理、論理的思考力、創造的思考力・デザインの修得ができます。また、「卒業研究」を通し、創造的思考力の修練ができます。
- ・アクティブラーニングや反転授業によって主体的かつ能動的に学ぶことを可能とし、協調力・コミュニケーション力や、自律的かつ継続的な学修能力を修得できます。

5. 改組後の入試の概要

- ・令和6年度入学者選抜試験から、現行の総合型選抜Ⅰ、総合型選抜Ⅱ、一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）、私費外国人留学生入試に加え、新たに「学校推薦型選抜Ⅰ」による募集を行います。
- ・「総合工学枠」を除く全てのコースは、学校推薦型選抜Ⅰ、総合型選抜Ⅰ、総合型選抜Ⅱ、一般選抜（前期日程）において募集を行います。（後期日程での募集は行いません。）
- ・総合工学枠は一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）のみの募集となります。
- ・大学入学共通テストを利用する全ての選抜（総合型選抜Ⅱ、一般選抜（前期日程、後期日程））において、新たに「生物」が選択可能となります。なお、「生物」が選択できるのは、あくまで大学入学共通テストの理科においてであり、一般選抜（前期日程）の個別学力検査の理科においては、「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」から1科目群の選択となります（「生物基礎・生物」の選択はできません）。
- ・学校推薦型選抜Ⅰにおいて女性の志願者を対象とした「女子枠」を導入します。女子枠は一般枠との併願が可能です。

6. 総合工学枠について

- ・入学後に進む分野を決定したい、進みたい分野があるが入学後に適性を見極めたい、幅広い工学の知識や技術を学んでから専門の分野に進みたい、というニーズに対応した募集枠です。社会と科学技術について学びながら技術者としての自身の適性を考え、工学の学問分野の多様性と工学技術の社会における役割と責任を把握・理解し、社会的課題に対して、既成概念にとらわれず積極的に挑戦していく姿勢や発想、能力を有する技術者の養成を目指しています。
- ・総合工学枠合格者は1年次に総合工学クラスに所属します。2年次進級時に配属コース希望（第1・第2）から、得意分野・成績等やコーディネーターとの相談を踏まえて、第1希望又は第2希望のコースに配属されます。
- ・総合工学枠は一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）のみの募集となります。総合工学クラスで学びたい場合は、各出願時に総合工学枠を選択してください。
- ・一般選抜（後期日程）は総合工学枠のみの募集となります。一般選抜（前期日程）では7つのコースと総合工学枠の計8枠で募集を行います。

目 次

1. 入学者受入方針（アドミッションポリシー）	1
2. 入学者選抜日程	6
3. 募集人員（入学定員）	7
4. 出願資格	8
(1) 学校推薦型選抜Ⅰ	8
(2) 総合型選抜Ⅰ	8
(3) 総合型選抜Ⅱ	9
5. 出願手続	12
6. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談	18
7. 受験票	18
8. 選抜方法	19
(1) 選抜方法の概要	19
(2) 学校推薦型選抜Ⅰ	20
(3) 総合型選抜Ⅰ	23
(4) 総合型選抜Ⅱ	25
9. 受験上の注意	27
10. 合格者発表	28
11. 入学手続	28
12. 個人情報の取扱い	30
13. その他の留意事項	30
14. 入学試験における感染症対応	30
15. 甲府キャンパス案内図	31

募集要項について

今後の新型コロナウイルス等感染症拡大状況により、本募集要項の内容とは異なる方法で選抜を実施する場合があります。変更が生じた場合はホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) に最新の情報を掲載しますので、随時確認してください。

表記一覧表 この募集要項では、以下のとおり略語を使用します。

学部名称	
学部	表記
教育学部（学校教育課程）	教育
医学部	医学
工学部	工学
生命環境学部	生命

選抜名称	
選抜区分	表記
一般選抜 前期日程	前期
一般選抜 後期日程	後期
学校推薦型選抜 I	推 I
学校推薦型選抜 II	推 II
総合型選抜 I	総 I
総合型選抜 II	総 II
私費外国人留学生入試	私費

大学入学共通テストの教科・科目			
教科	表記	科目	表記
国語	国	国語	国
地理歴史	地歴	世界史 A	世 A
		世界史 B	世 B
		日本史 A	日 A
		日本史 B	日 B
		地理 A	地 A
		地理 B	地 B
公民	公民	現代社会	現社
		倫理	倫
		政治・経済	政経
		倫理、政治・経済	倫政経
数学	数	数学 I	数 I
		数学 I・数学 A	数 I A
		数学 II	数 II
		数学 II・数学 B	数 II B
		簿記・会計	簿
		情報関係基礎	情
理科	理	物理基礎	物基
		化学基礎	化基
		生物基礎	生基
		地学基礎	地基
		物理	物
		化学	化
		生物	生
		地学	地
外国語	外	英語	英
		ドイツ語	独
		フランス語	仏
		中国語	中
		韓国語	韓

個別学力検査等の科目等	
科目等	表記
実技	実
小論文	小
面接	面
その他	他

1. 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

山梨大学のアドミッションポリシーは、まず、本学が求める人物像と入学者に求める資質・能力を示し、学部ごと、および学科・コース等ごとに、育成目標、入学者に求める資質・能力、人物像、入学前に学習しておくことが期待される内容、試験区分別の入学者選抜の基本方針を示しています。

そのうち、「育成目標」は、本学のディプロマポリシー（学位授与方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）との一貫性を意識し、入学後にどのような力を発展・向上させるのかを簡潔に示したものです。「入学者に求める資質・能力、人物像」には、入学前にどのような多様な能力をどのようにして身に付けてきた学生を求めているか、入学後にどのような能力をどのようにして身に付けられる学生を求めているかなどを示しています。「試験区分別の入学者選抜の基本方針」は、入学者選抜において、アドミッションポリシーを具現化するためにどのような評価方法を多角的に活用するのかなどを説明しています。なお、「入学前に学習しておくことが期待される内容」も学部ごと、および学科・コース等ごとに示していますので、希望する学部、学科・コースに合わせて、高等学校での学習の参考にしてください。

理念・目的

豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する教育・研究を行います。

キャッチフレーズ

地域の中核、世界の人材

教育目標

個人の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、自ら課題を見だし解決に努力する積極性、先見性、創造性に富んだ人材の養成を目指しています。

求める人物像

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、その修了に必要な教養、汎用能力、専門能力をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、これらのカリキュラムを知的好奇心をもって継続的・主体的に修得して卒業し、専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつとともに、入学時において以下のような基礎的な資質・能力を有する人を求めます。

入学者に求める資質・能力

高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識を有している人その他、各教育プログラムの学修に必要な資質・能力（思考力・判断力・表現力など）を有する人

*ここでは入学試験で評価できる項目のみが挙げられており、順法精神など、社会通念上大学生が当然備えているべき項目までは記載していません。

● 工学部

理念・目的

広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成する教育・研究を行います。

育成目標

未来世代を思いやるエンジニアリング教育

工学部のキャッチフレーズ「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」を指針とし、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけた人材を養成します。

求める資質・能力・人物像

工学部では、工学系技術者となって社会に貢献しようとする意欲をもつ、次のような人を求めています。

- 4年間学び抜くことができる学力と強い意志を有していること
- 工学または各コースで学ぶ内容に強い興味と適性を有していること

- 工学を学ぶ上で必要となる数学、理科の基礎力を有していること
- 多様な情報を分析し、主体的に判断できること
- 国語、地歴公民など高校で履修する幅広い科目により人間や社会に関する基礎的な知識や興味を有すること
- 書かれた文章を理解し、利用できること。また、学んだことや自らの考えを論理的な文章で表現できること
- 国際的なコミュニケーション能力の基本として基礎的な英語の語学力を有し、入学後も積極的に学ぶ意欲を有すること
- 実験や観察の計画や実行に積極的に取り組んだ経験があること

工学科

試験区別の入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅰでは、出願書類と面接、小論文により、本学科で学ぶ強い意欲を有した学生を求める入試を行います。「調査書」では、各教科・科目等の学習の記録において、バランスの良い基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項において、学科への関連の内容の記載を参考とします。「多面的・総合的な評価のための申告書」はアドミッションポリシーを理解し、学科で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を確認するための参考資料として利用し、「学校長推薦書」はこれを補完するものとして活用します。これら出願書類は「面接」の資料としても用います。「小論文」では、志望するコースに関連した内容に基づいて、基礎的学力や興味・関心について評価します。

選抜単位として、性別に依らずに出願できる「一般枠」のほか、女性のみが出願できる「女子枠」を設けます。「女子枠」への出願者は、上記に加え、志望理由書（男女ともに輝ける社会を創造するために工学系出身者が貢献すべきことや、ダイバーシティの視点で大学で学ぶべきこと、身に付けたいことなどに関する考えについて記載）の提出も必要です。

総合型選抜Ⅰでは、口頭試問を含む面接により、理科の基礎学力と本学科で学ぶ強い意欲を有した学生を求める入試を行います。「調査書」では、本学科における修学が可能な基礎学力を備えるかを評価すると同時に「面接」の資料とします。「面接」では、目的意識、勉学意欲、論理的思考力などを評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、本学のアドミッションポリシーへの理解、向上心や主体性、協働性を重視するとともに、本学科で学ぶ意欲や、将来への展望が明確であるかを確認します。学力評価として、物理または化学に関する口頭試問を含む「面接」により、物理または化学に関する基礎知識や興味を評価します。

総合型選抜Ⅱでは、出願書類および大学入学共通テストにより、本学科に必要な基礎学力を有した学生を求める入試を行います。「調査書」では、基礎的学力を備えているかを判定するとともに、課外活動や取得した資格等により向上心や主体性を評価します。「多面的・総合的な評価のための申告書」では、本学のアドミッションポリシーへの理解、向上心や主体性、協働性を重視するとともに、本学科で学ぶ意欲や、将来への展望が明確であるかを確認します。学力評価として、「大学入学共通テスト（教科・科目数は型により異なる）」を課します。

クリーンエネルギー化学コース

育成目標と求める能力・人物像

人類の持続的な発展のためエネルギーの確保、環境の保全は最重要課題です。本コースでは、環境にやさしく高効率なエネルギー創製、利用に関する専門知識や技術を備えた、この最重要課題の解決に貢献できる技術者・研究者の養成をめざしています。本コースの卒業生は、クリーンエネルギー技術の社会実装実現を担う企業、たとえば自動車メーカー、電気機器メーカー、材料メーカーなど様々な分野において活躍することができます。そのために、次のような人を求めています。

- 化学のなかでも特にエネルギー材料、エネルギー変換・貯蔵技術などのクリーンエネルギー化学に対する強い興味をもつ人
- クリーンエネルギー化学の学問、研究を通じて人類の持続的な発展に寄与する意欲をもつ人
- 理科（特に化学）、数学、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲をもつ人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解しておくことが必要です。クリーンエネルギー化学は化学を基礎として、物理・生物・地学を含めた広い視点から、エネルギーや環境などの諸問題に取り組む分野です。化学全般の内容を深く理解するとともに、理科全般の素養、さらには研究結果の解析に必要な数学、文献の読解やコミュニケーションに必要な国語・英語の基礎学力を備えていることを期待しています。

応用化学コース

育成目標と求める能力・人物像

応用化学を学んだ技術者は、材料・化学メーカー、エネルギー関連、電気・電子、機械、自動車、製薬、食品、化粧品、装置製造産業、環境分析など様々な分野における新規材料開発および計測などに携わることができます。本コースでは、化学の専門知識と実験技術を修得し、新素材・エネルギー・環境等の課題を解決できる技術者・研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 化学に対する強い好奇心をもち、新素材・高機能物質の開発やエネルギー・環境等の問題解決に意欲のある人
- 化学、物理、数学、英語の基礎的な学力を有する人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解しておくことが必要です。化学はもちろんのこと、数学や物理の基礎学力は実験結果の解析に必要となります。また、外国の専門誌を読んだり、レポートを作成したりするためには、英語や国語の力が必要です。化学だけでなく化学以外の科目やそれらと化学との境界領域にも興味をもって勉強しておくことを期待します。

土木環境工学コース

育成目標と求める能力・人物像

土木環境工学を学んだ技術者は、国土交通省をはじめとする国家公務員、都道府県、市町村の地方公務員、総合建設業の技術者、設計コンサルタントとして、社会資本の整備や維持管理に携わっています。また、同技術者には道路、運輸等の公共企業、電力、ガス、通信等の公益企業、環境衛生エンジニアリング、住宅建設と、幅広い活躍の場があります。本コースでは、このような分野で活躍する「土木工学と環境工学に関する幅広い基礎知識・技術を併せ持ち、持続可能な社会の構築に意欲的に貢献できる技術者」の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 自然環境と調和した社会基盤整備の知識・技術を修得し、災害に強く、環境に配慮した安全で快適な地域づくり・まちづくりに携わりたい人
- 防災・減災、都市環境、社会資本の維持管理など、土木環境工学の最先端について学びたいという意思のある人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。土木環境工学は自然や社会との接点が多い分野です。解析や設計に直接通じる数学や物理の学力だけでなく理科全般の素養と、自分の言葉で社会とコミュニケーションするために、国語、英語、地歴公民の素養を身につけていることを期待しています。

コンピュータ理工学コース

育成目標と求める能力・人物像

コンピュータ理工学を学んだ技術者は、スマートフォンなどの情報機器やネットワークシステム、ソフトウェアの開発・運用管理、情報通信系のサービス、自動車や電機などの製造業などで活躍しています。また、人工知能技術を駆使したデータ解析の技術者は、いまや情報分野に限らず幅広い分野で必要不可欠な人材です。本コースは、そのような幅広い分野で活躍できる技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 情報科学技術や大規模ソフトウェアの設計開発、ものづくりに対する強い好奇心をもち、将来、専門知識・技術を備えた情報処理技術者・研究者になりグローバルに活躍することを目指している人
- 数学、理科、国語及び英語の基礎的な学力を有する人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。コンピュータ理工学は、情報化社会の基盤と密接に関連しています。したがって、情報システムや機器の設計・解析手法を学ぶための理工学の素養の他に、国内外の文化や慣習、社会情勢などに対する知識や理解とともに日本語や英語によるコミュニケーション能力を備えていることを期待しています。

機械工学コース

育成目標と求める能力・人物像

人間と機械との結びつきを理解し、自然保護と社会の繁栄さらに人類の幸福に貢献できる技術者の育成を目指しています。具体的には数学・物理などの数理知識を自動車・航空・宇宙産業や医工学分野さらに動力エネルギー分野などへと応用する技術を習得します。そのために、次のような人を求めています。

- 数学・理科・英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科の中では特に物理を重視します。
- 実験などを通して身の周りの自然現象の観察に興味のある人
- 人と機械とが関わるものづくりに興味のある人
- 独創的な発想で機械の技術革新をしようとする人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。機械工学は物理を基礎として、また数学を駆使して構築されている工学分野です。数学、物理の本質を理解するとともに、また、国際的に活躍できる人材となるために不可欠な英語の素養も身につけてくることを期待しています。

メカトロニクスコース

育成目標と求める能力・人物像

産業・民生用ロボットなど近年の電子機械製品は機械・電気・情報の3分野の技術の融合体であり、いずれの技術が欠けても成り立ちません。本コースでは、これら3分野にまたがる知識や技術を利用して、社会で求められている電子機械製品の開発などの実践的な課題を解決できる技術者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- コンピュータで制御された電子機械製品の研究や開発をはじめとした幅広い分野に興味を持ち、社会で求められている技術や製品の実現に意欲を持っている人
- 数学、理科、英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。またメカトロニクスコースは、電気・情報・機械の幅広い分野に関連しています。従って、分野を問わず最先端技術に興味を持つと共に、その基礎となる物理、数学などの本質を理解するようにしてください。

電気電子工学コース

育成目標と求める能力・人物像

電気電子工学は材料・素子から、素子を組み合わせた回路、複数の回路を結合した装置、装置やソフトウェアを統合したシステムに至るまで、様々な対象を取り扱う幅広い学問分野であり、その成果はほぼ全ての社会基盤に必要とされています。本コースは、電気電子工学を駆使して社会で活躍する技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 電気電子工学に強い興味と関心を持ち、将来は、太陽光発電を含む発電システム、スマートフォンなどのICT機器・通信システム、医療機器、自動運転車や電気自動車などの交通システム、鉄道などの社会インフラ、またこれら全てを支える大規模集積回路の研究、設計、整備、運用など、様々な分野と立場で活躍する意欲をもつ人
- 数学、理科、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。特に、物理と数学の本質を理解するとともに、電気、磁気、光、電子に関する物理現象に興味を持って勉強してきてください。

総合工学枠

育成目標と求める能力・人物像

総合工学枠で学ぶ人は、1年次に自律的・主体的にクラス共通科目を選択し、社会と科学技術について学びながら、技術者としての自身の適性を考え、2年次以降の所属コースを決定します。特に、工学の学問分野の多様性と、工学技術の社会における役割と責任を把握・理解し、社会的課題に対して、既成概念にとらわれず積極的に挑戦していく姿勢や発想、能力を有する技術者の養成を目指しています。そのため、次のような人を求めています。

- 社会的課題に関心を持ち、それと工学の各専門分野の関係を意識して、自ら学ぶべき進路を選択できる人
- 工学全般または各コースを横断的に多様な内容を学ぶことに強い興味を有している人
- 数学、国語、理科、英語、地歴公民の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。特に、数学や理科に加えて国語を重視します。

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、国語、理科、英語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。すべての工学分野の基礎となる数学や理科全般の素養に加えて、自分の言葉で社会とコミュニケーションするために必要な理解力や表現力につながる国語の学力を身につけ、社会的課題を意識できていることを期待しています。

2. 入学者選抜日程

選抜区分	学校推薦型選抜	総合型選抜	
	I	I	II
実施学部等	工学部		
大学入学 共通テスト	—	—	1/13(土) } 1/14(日)
出願期間	11/1(水) } 11/9(木)	9/28(木) } 10/6(金)	12/13(水) } 12/21(木)
選抜期日	11/18(土)	10/21(土)	—
合格者発表	12/8(金)	11/1(水)	2/13(火)
入学手続	2/14(水) } 2/19(月)		
入学式	4月上旬		

※ 欠員が生じた場合、一般選抜で補充します。

3. 募集人員（入学定員）

学部	課程・学科・コース・系		入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜						総合型選抜		私費	合計	
				前期	後期	I	I (女子枠)	I (A)	I (B)	I (C)	II	I	II			
教育学部	学校教育課程	幼小発達教育コース		120	8	3	-	-	2	-	-	-	-	-	若干	13
		障害児教育コース			10	4	-	-	4	-	-	-	-	-	若干	18
		言語教育コース	国語教育系		7	2	-	-	2	-	-	-	-	-	若干	13
			英語教育系				-	-	2	-	-	-	-	-		
		生活社会教育コース	社会科教育系		11	3	-	-	2	-	-	-	-	-	若干	20
			家政教育系				-	-	3	1	-	-	-	-		
		科学教育コース	数学教育系		14	4	-	-	2	-	-	-	-	-	若干	26
			理科教育系				-	-	2	-	-	-	-	-		
			技術教育系				-	-	3	1	-	-	-	-		
		芸術身体教育コース	音楽教育系		6	4	-	-	2	-	-	-	-	-	若干	18
美術教育系	-		-	2			-	-	-	-	-					
保健体育系	-		-	4			-	-	-	-	-					
山梨県小学校教員養成特別教育プログラム				-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	12		
計			120	56	20	-	-	30	2	12	-	-	-	若干	120	
医学部	医学科		105	-	90	-	-	-	-	-	15以内	-	-	-	105	
	看護学科		60	30	5	25	-	-	-	-	-	-	-	-	60	
	計		165	30	95	25	-	-	-	-	15以内	-	-	-	165	
工学部	工学科	クリーンエネルギー化学 コース		365	18	-	4	2	-	-	-	-	6	3	若干	33
		応用化学 コース			18	-	4	2	-	-	-	-	6	3	若干	33
		土木環境工学 コース			30	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	46
		コンピュータ理工学 コース			47	-	8	2	-	-	-	-	6	12	若干	75
		機械工学 コース			32	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	48
		メカトロニクス コース			29	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	45
		電気電子工学 コース			29	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	45
		総合工学 枠			10	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		365	213	30	48	14	-	-	-	-	30	30	若干	365		
生命環境学部	生命工学科		40	32	5	-	-	-	-	-	-	-	3	若干	40	
	地域食物科学科		37	30	5	-	-	-	-	-	-	-	2	若干	37	
	ワイン科学特別コース			(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(13)	
	環境科学科		30	22	5	-	-	-	-	-	-	-	3	若干	30	
	地域社会システム学科		48	40	5	-	-	-	-	-	-	-	3	若干	48	
	観光政策科学特別コース			(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(13)	
計		155	124	20	-	-	-	-	-	-	-	11	若干	155		
合計			805	423	165	73	14	30	2	12	15以内	30	41	若干	805	

- 各選抜方法による合格者数が募集人員から増減することがあります。最終的に入学定員を確保する方向で調整します。
- 教育学部の学校推薦型選抜 I は、I (A) 教科別推薦入試、I (B) 専門・総合学科推薦入試、I (C) 山梨県の小学校教員志望者推薦入試の3つに区分して実施します。
- 工学部工学科においては、コース毎の合格者数が募集人員から増減することがあります。最終的に工学科全体で入学定員を確保する方向で調整します。
- 生命環境学部の特別コースの人員について、ワイン科学特別コースは地域食物科学科、観光政策科学特別コースは地域社会システム学科の募集人員に含まれ、内訳は目安です。
- 医学部医学科の入学定員について、令和6年度医学部臨時定員増への申請を予定しています。申請し承認された場合は、学校推薦型選抜IIの募集人員が「35以内」、入学定員が「125」となります。変更が生じた場合はホームページで公表します。

4. 出願資格

(1) 学校推薦型選抜 I

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す・課さないを問わず）へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。

工学部【一般枠】

次の各号の全てに該当する方（出願できるのは1コースのみです）

*1校から推薦し得る人数に制限はありません。

- (1) 2022年度中又は2023年度中に高等学校又は中等教育学校（後期課程）を卒業した又は卒業見込みの方
- (2) 高等学校の成績が優秀で、「調査書」の学習成績の状況が下記の方
全体の学習成績の状況：3.8以上、又は理科の学習成績の状況：4.0以上
- (3) 志望コースの学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲のある方
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる方

工学部【女子枠】

次の各号の全てに該当する女子の方（出願できるのは1コースのみです）

*1校から推薦し得る人数に制限はありません。

*一般枠との併願が可能です。

- (1) 2022年度中又は2023年度中に高等学校又は中等教育学校（後期課程）を卒業した又は卒業見込みの方
- (2) 高等学校の成績が優秀で、「調査書」の学習成績の状況が下記の方
全体の学習成績の状況：3.8以上、又は理科の学習成績の状況：4.0以上
- (3) 志望コースの学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲のある方
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる方

(2) 総合型選抜 I

工学部【総合型選抜 I】

次の各号の全てに該当する方（出願できるのは1コースのみです）

- (1) 2023年度中に高等学校又は中等教育学校（後期課程）を卒業した又は卒業見込みの方
- (2) 高等学校の成績が優秀で、「調査書」の学習成績の状況が下記の方
全体の学習成績の状況：3.8以上、又は数学の学習成績の状況：4.0以上
- (3) 志願コースの学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲のある方
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる方

(3) 総合型選抜 II

工学部【総合型選抜 II】

次の各号の全てに該当する方（出願できるのは1コースのみです）

- (1) 令和6年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受験する方
- (2) 2021年度中、2022年度中又は2023年度中に高等学校又は中等教育学校（後期課程）を卒業した又は卒業見込みの方
- (3) 志願コースの学生となるのに十分な適性と強い勉学意欲のある方
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる方

* 大学入学共通テスト 本学が指定する教科・科目

令和6年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和6年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

各科目の配点については、26ページを参照してください。

工学部 工学科 型の一覧											
共通テストの 教科グループ	国	地歴	公民	数①	数②	理①	理②			外	
科目名				数 I A	数 II B		物	化	生	英	
科目数	㊦	-	-	(1)	(1)	-	(1)	1	(1)	-	(1)
	㊧	-	-	-	-	-		2		-	-
	㊨	-	-	-	-	-	1	1		-	-
	㊩	-	-	1	1	-				-	-
	㊪	-	-	1	1	-		2		-	1
	㊫	-	-	1	1	-	1	1		-	1
注意事項	<p>* 各コース指定の型に合致するように科目を選択してください。</p> <p>* <u>受験科目の選択は以下の内容を必ず確認してください。</u></p> <p>㊦ 理科重視型（化学） 化は必須。数IA・数IIB・物・生・英の5科目から、少なくとも2科目を選択してください。3科目以上を受験した場合は合計得点の最も高くなる2科目を大学側で採用します。</p> <p>㊧ 理科重視型（一般） 物・化・生の3科目から、2科目を選択してください。</p> <p>㊨ 理科重視型（物理） 物 は必須。化・生の2科目から、1科目を選択してください。</p> <p>㊩ 数学重視型 数IA・数IIB 必須。</p> <p>㊪ 英数理バランス型（一般） 数IA・数IIB・英は必須。物・化・生は3科目から、2科目を選択してください。</p> <p>㊫ 英数理バランス型（物理） 数IA・数IIB・物・英は必須。化・生は2科目から、1科目を選択してください。</p> <p>【外国語】 英語はリスニングも利用します。リーディング(160)+リスニング(40)=計(200)として合算し、配点（26ページ参照）を満点とした得点に換算します。</p>										

選抜区分	工学部 工学科 クリーンエネルギー化学コース（総合型選抜Ⅱ） 工学部 工学科 応用化学コース（総合型選抜Ⅱ）							
共通テストの教科グループ	国	地歴	公民	数①	数②	理①	理②	外
科目名	/	/	/	数Ⅰ A	数Ⅱ B	/	物 化 生	英 /
科目数	㊦ -	-	-	(1)	(1)	-	(1) 1 (1) -	(1)
注意事項	*㊦理科重視型（化学） *型に合致するよう科目を選択してください。							

選抜区分	工学部 工学科 土木環境工学コース（総合型選抜Ⅱ）							
共通テストの教科グループ	国	地歴	公民	数①	数②	理①	理②	外
科目名	/	/	/	/	/	/	物 化 生	/
科目数	㊩ -	-	-	-	-	-	2 -	-
注意事項	*㊩理科重視型（一般） *型に合致するよう科目を選択してください。							

選抜区分	工学部 工学科 コンピュータ理工学コース（総合型選抜Ⅱ）							
共通テストの教科グループ	国	地歴	公民	数①	数②	理①	理②	外
科目名	/	/	/	数Ⅰ A	数Ⅱ B	/	物 化 生	英 /
科目数	㊥ -	-	-	1	1	-	-	-
科目数	㊦ -	-	-	1	1	-	2 -	1
注意事項	*㊥数学重視型、㊦英数理バランス型（一般） *少なくとも1つの型に合致するよう科目を選択してください。また、複数の型の選抜対象となり得ます。 *㊥数学重視型と㊦英数理バランス型（一般）で同点者がいる場合は、㊥数学重視型の者を上位者とします。							

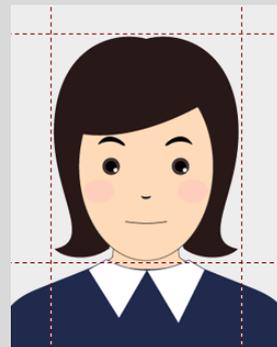
選抜区分	工学部 工学科 機械工学コース（総合型選抜Ⅱ）							
共通テストの教科グループ	国	地歴	公民	数①	数②	理①	理②	外
科目名	/	/	/	数Ⅰ A	数Ⅱ B	/	物 化 生	英 /
科目数	㊧ -	-	-	1	1	-	1 1 -	1
注意事項	*㊧英数理バランス型（物理） *型に合致するよう科目を選択してください。							

選抜区分	工学部 工学科 メカトロニクスコース (総合型選抜II) 工学部 工学科 電気電子工学コース (総合型選抜II)							
共通テストの教科グループ	国	地歴	公民	数①	数②	理①	理②	外
科目名	/	/	/	数I A	数II B	/	物 化 生	/
科目数	㊦	-	-	-	-	-	1 1 -	-
	㊧	-	-	1	1	-	-	-
注意事項	<p>*㊦理科重視型 (物理)、㊧数学重視型</p> <p>*少なくとも1つの型に合致するよう科目を選択してください。また、複数の型の選抜対象となり得ます。</p> <p>*㊦理科重視型 (物理) と㊧数学重視型で同点者がいる場合は、㊦理科重視型 (物理) の者を上位者とします。</p>							

5. 出願手続

出願期間内に Web 出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 の全てを完了してください。いずれか1つでも完了していない場合は出願を受理することはできません。

- インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等
- PDF ファイルを開くためのアプリケーション（アドビ社の Adobe Acrobat Reader を推奨）
- A4 サイズの印刷が可能なプリンター
自宅にプリンターがない場合は、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。
- 「@yamanashi.ac.jp」からの受信が可能なメールアドレス
- 出願書類
- 市販の角形2号封筒（24 cm×33.2 cm）
- 証明写真（顔写真）データ



（良い顔写真の例）

試験当日の本人確認で利用しますので、明暗以外は無加工の写真を準備してください。

なお、試験時間中に眼鏡をかける方は、眼鏡をかけて撮影した写真を準備してください。

- ・証明写真機（写真データのダウンロードや取得ができるもの。写真等の保存フォルダに入れてください。）やデジタルカメラ、スマートフォン、タブレットで撮影したもの。
- ・試験日3ヶ月以内に単身で撮影したもの。
- ・全体に対する顔の比率は、上下左右が上記の例の点線程度になっているもの。
- ・カラー写真、上半身・正面、無帽、無背景、枠なしであること。
- ・写真サイズは、縦 800px×横 600px 以上（縦横比 4：3）、3MB 以内であること。
- ・ファイル形式は、JPEG であること。（ファイル拡張子は jpg）

② メールアドレスの登録

Web 出願サイト (<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>) にアクセスし、「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにメールが届きますので、本文の案内に従い 30 分以内に次の手順に進んでください。



③ 利用者情報の登録（いつでも登録できます）

画面の案内に従って個人情報を用漢字（JIS 第 1 水準・第 2 水準）で登録してください。

出願から入学までの間、本学からの通知を志願者本人が確実に受信できる連絡先（メールアドレス、住所、電話番号等）を登録してください。出願後に変更が生じた場合は、速やかに教学支援部入試課へ連絡してください。

④ 出願情報の登録（出願期間中のみ登録できます）

Web 出願サイト>マイページ>新規出願から、画面の案内に従い登録してください。

⑤ 入学検定料の支払い

Web 出願サイト>マイページ>検定料の支払いから、画面の案内に従いお支払いください。

⑥ 出願書類の提出

出願書類を作成・印刷し、原則、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で教学支援部入試課へ郵送してください。

⑦ 出願の受理

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の発行通知をお待ちください。

* 出願に関する留意事項

- 出願内容（Web 出願情報・出願書類等）に不備がある場合は受理しないことがあります。
- 出願内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- 出願受理後は、いかなる理由があっても出願内容の変更は認めません。
- 出願受理後は、いかなる理由があっても出願書類の返却はできません。

(1) 出願期間

推 I

2023 年 11 月 1 日 (水) ~ 2023 年 11 月 9 日 (木) 16 時 30 分 【必着】

総 I

2023 年 9 月 28 日 (木) ~ 2023 年 10 月 6 日 (金) 16 時 30 分 【必着】

総 II

2023 年 12 月 13 日 (水) ~ 2023 年 12 月 21 日 (木) 16 時 30 分 【必着】

出願期間内に Web 出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 の全てを完了してください。いずれか 1 つでも完了していない場合は出願を受理することはできません。

(2) 入学検定料の支払い

入学検定料：17,000 円

- Web 出願サイトの「検定料の支払い」で、①~④から支払方法を選択しお支払いください。
 - ①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関 ATM(Pay-easy)、④ネットバンキング
- クレジットカード以外の支払方法は入金確認に 2 時間程度かかります。(入金が確認されないと次の出願書類の印刷に進むことができませんので注意してください。)
- 全ての支払方法において手数料は志願者負担になります。
- 海外からの支払方法はクレジットカードのみです。
- 出願受理後はいかなる理由があっても既納の入学検定料は返還できません。

*** 入学検定料の免除**

- 対象者 …… 次の災害に被災された方に対し、入学検定料免除の特別措置を行います。

東日本大震災、平成 28 年熊本地震、平成 30 年 7 月豪雨、平成 30 年北海道胆振東部地震、令和元年台風第 15 号及び第 19 号、令和 2 年 4 月以降に発生した災害救助法の適用となる災害

- 必要書類 …… ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>) を確認してください。
- 受付期間 …… 出願期間開始日の 1 ヶ月前~出願期間開始日の前日
- 照会先 …… 教学支援部入試課 ☎400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37 TEL：055-220-8046

*** 入学検定料の返還**

- 対象者 …… 次の方に限って、入学検定料を返還します。
 - ・出願が受理されなかった方には、入学検定料を返還します。
 - ・出願受理後に、大学入学共通テストの科目不足等により、出願無資格者であることが判明した方には、入学検定料のうち 13,000 円を返還します。
- 請求方法 …… 対象者に別途通知します。

(3) 出願書類

☆の様式は必ず本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) からダウンロードしてください。

出願書類	摘 要 (原則 A4 サイズで提出すること)
調査書	【全員】 ・学校長等が文部科学省所定の様式により作成し、学校長等の職印及び記載責任者の印を押印の上、厳封したもの ・複数枚の場合は、左上をホッチキス止めすること
	*発行年月 ・発行年月は問わない ・既卒者は卒業後のものを提出すること
	*調査書が提出できない場合 ・保存年限の超過、廃校、被災、その他の事情により調査書が提出できない場合は、各選抜の出願開始日前日までに教学支援部入試課まで電話連絡をすること。
☆多面的・総合的な評価のための申告書	【全員】 ・本学所定の様式により志願者が作成したもの
☆学校長推薦書	工学 推 I ・学校長等が本学所定の様式により作成し、厳封したもの ・工学部の様式を用いること
☆志望理由書	工学 推 I 【女子枠に志願する方】 ・本学所定の様式により志願者が作成したもの
大学入学共通テスト成績請求票貼付用紙	工学 総 II ・Web 出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した様式に「令和6共通テスト成績請求票 国公立総合型選抜用」を貼付したもの ・成績請求票を再発行した場合は、再発行されたものを使用すること
住民票	【国籍が日本国以外の方】 ・住居地の市区町村長が交付する在留資格及び在留期間が記載されたもの
戸籍抄本	【改姓等により証明書等の氏名が異なる方】

出願書類一覧表

◎ 全員提出、△ 該当者のみ提出、- 提出不要

選 抜 区 分	調 査 書	学 校 長 推 薦 書	多 面 的 ・ 総 合 的 な 評 価 の た め の 申 告 書	志 望 理 由 書	大 学 入 学 共 通 テ ス ト 成 績 請 求 票 貼 付 用 紙	住 民 票	戸 籍 抄 本
推 I	◎	◎	◎	△	-	△	△
総 I	◎	-	◎	-	-	△	△
総 II	◎	-	◎	-	◎	△	△

* 出願書類の作成方法

- 作成方法は、自筆の指定がない場合は、自筆・パソコンを問いません。
- 自筆の場合は、ボールペン（消せるボールペンは不可）を使用し、楷書で記入の上、原本（写しは不可）を提出してください。また、訂正する場合は、修正液等の使用や紙面の削り取りはせず、訂正する箇所に二本線を引き訂正印を押してください。
- 文字色は黒色とします。数字は原則算用数字を用いてください。
- 本学所定の様式は必ず該年度の募集要項の巻末に記載されているものと同じ様式の Word または PDF データを使用してください。過年度の様式等を使用した場合、再提出をお願いする場合があります。

* 多面的・総合的な評価のための申告書

本申告書は、志願者に関する多面的な情報が提供されることを目的としていると同時に、志願者が大学で学ぶ理由を見つめ直し、自らの進路について主体的に考える機会を増やすことで、大学での学修意欲を高めるために課すものです。

- 様式は本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) からダウンロードしてください。
- 必ず志願者本人が作成してください。図表等を用いても構いません。
- 他の出願書類と整合性が保たれている内容を記入してください。
(虚偽の記載が判明した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。)
- 各項目の記載内容に補足・補完する程度の重複があっても構いません。
- 本学所定の様式（A 4 片面 1 枚）に収まるように記入してください。なお、文字数に指定はありません。

(4) 出願書類の提出方法

- ① Web 出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した「出願書類等チェックリスト（提出不要）」で、出願書類が全て揃っているか最終確認してください。
- ② Web 出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した「封筒貼付票」を市販の角形 2 号封筒に貼付の上、出願書類を封入してください。
- ③ 学校推薦型選抜 I に出願する場合は、志願者ごとの封筒を（1 名の場合でも）学校で別封筒に取りまとめて封入してください。（一般枠と女子枠については、区別する必要はありません。）
なお、別封筒の表に、「工学部 学校推薦型選抜 I ○名願書在中」（○は人数を記入）と朱書きしてください。
また、志願者リスト（様式任意：学校名、志願者氏名、志願先（学科・コース等）を記載したもの）を作成し、同封してください。
- ④ 総合型選抜に出願する場合は、学校で取りまとめる必要はありませんので、送付先に個別でお送りください。
- ⑤ 出願期間内に本学へ到着するよう、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で郵送してください。
（教学支援部入試課 〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37 TEL：055-220-8046）

* 郵送では間に合わない場合

出願最終日の 9:00～12:00【厳守】に限り、教学支援部入試課窓口において出願書類の持参を受け付けます。

（この日時以外に持参しても、出願書類を受け取ることはできません。）

6. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

① 対象者

病気・負傷や障がい等のある志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方
(受験上の配慮を必要としない場合でも、修学上の配慮を必要とする方は必ず申請してください。)

② 相談方法

受付期間に教学支援部入試課に連絡の上、必要書類を提出してください。

③ 必要書類

- 本学所定の「受験上及び修学上の配慮相談申請書」
様式は本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3794>) からダウンロードし、記入してください。なお、印刷は両面印刷で行ってください。
- 医師の診断書等(病気・負傷や障がい等の状況がわかる文書、写し可)
- 大学入試センターの「受験上の配慮事項決定通知書」がある方はその写し

④ 受付期間

出願期間開始日の1ヶ月前～出願期間開始日の前日

⑤ 照会先

教学支援部入試課 〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37 TEL: 055-220-8046

⑥ 注意事項

- 日常生活において使用している補聴器・松葉杖・車椅子等の使用を希望する方は、必ず申請してください。
- 相談内容によっては対応に時間を要しますので、できるだけ早い時期に申請してください。
- 本申請時に提出された情報は、受験上及び修学上の配慮を検討するため本学内関係者間で共有される場合がありますので、予めご承知おき願います。
- 必要に応じて、志願者又はその立場を代弁し得る関係者と面談を行う場合があります。
- 受付期間以降に不慮の事故等により受験上及び修学上の配慮が必要となった場合や、申請後に出願又は受験を取り止める場合は、教学支援部入試課へ連絡してください。

7. 受験票

本学からの受験票の送付はありません。

受験票は Web 出願サイトから印刷し、試験当日に必ず持参してください。

【印刷可能通知】出願期間終了日から3日後(土日祝日の場合、直後の平日)までに通知

【印刷可能期間】通知の受信日～令和6年3月31日まで

【印刷方法】Web 出願サイト>マイページ>受験票から印刷

- 上記期日までに Web 出願サイトから受験票の印刷が可能になった旨をメールで通知します。
- 上記期日を過ぎても受験票が印刷できない場合は、教学支援部入試課へ照会してください。
- 受験票の印刷方法は白色の A4 用紙、倍率 100%、カラー印刷とします。
- 受験票には Web 出願サイトに登録された氏名を使用します。
- 受験票を紛失・汚損等した場合は、Web 出願サイトから再度印刷してください。
- 総合型選抜Ⅱを受験する場合、来学を伴う試験は実施しませんが、合格発表時の受験番号確認や合格後の入学手続の際に必要なため、受験票は必ず印刷してください。

8. 選抜方法

(1) 選抜方法の概要

学部	課程・学科・コース・系	共通テスト	個別学力検査	実技検査等				備考	
				実技	小論文	面接	その他		
学校推薦型選抜Ⅰ									
工学部	工学科	クリーンエネルギー化学 コース	-	-	-	○	○*1	-	*4
		応用化学 コース	-	-	-	○	○*1	-	
		土木環境工学 コース	-	-	-	○	○*1	-	
		コンピュータ理工学 コース	-	-	-	○	○*1	-	
		機械工学 コース	-	-	-	○	○*1	-	
		メカトロニクス コース	-	-	-	○	○*1	-	
		電気電子工学 コース	-	-	-	○	○*1	-	
総合型選抜Ⅰ									
工学部	工学科	クリーンエネルギー化学 コース	-	-	-	-	○	○*2	*4
		応用化学 コース	-	-	-	-	○	○*2	
		土木環境工学 コース	-	-	-	-	○	○*3	
		コンピュータ理工学 コース	-	-	-	-	○	○*3	
		機械工学 コース	-	-	-	-	○	○*3	
		メカトロニクス コース	-	-	-	-	○	○*3	
		電気電子工学 コース	-	-	-	-	○	○*3	
総合型選抜Ⅱ									
工学部	工学科	クリーンエネルギー化学 コース	○	-	-	-	-	-	*4
		応用化学 コース	○	-	-	-	-	-	
		土木環境工学 コース	○	-	-	-	-	-	
		コンピュータ理工学 コース	○	-	-	-	-	-	
		機械工学 コース	○	-	-	-	-	-	
		メカトロニクス コース	○	-	-	-	-	-	
		電気電子工学 コース	○	-	-	-	-	-	

*1 女子枠の志願者には、提出された「志望理由書」に基づく面接も行います。

*2 その他では、簡単な化学実験・実習の操作を課し、それに関する基礎的な知識や観察力・表現力を問う面接を行います。

*3 その他では、提示する物理に関する資料に基づき、受験者の観察力・考察力・表現力を問う面接を行います。

*4 欠員が生じた場合、一般選抜で補充します。

(2) 学校推薦型選抜 I

① 選抜方法・合否判定基準

クリーンエネルギー化学コース	<p>小論文、面接の結果や、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を総合して判定します。小論文や面接では、数学・理科・外国語の素養に関する試問を含むことがあります。なお、合格ライン上に総得点が同点の者がいる場合は、小論文、面接の順に得点が高い者を上位とします。この選抜の判定は一般枠、女子枠とも同じです。</p> <p>女子枠については、これらに加えて、提出された「志望理由書」に基づく面接も上記の面接と同じ時間内に行います。女子枠と一般枠を併願することも可能で、女子枠で不合格と判定された者が併願している場合には一般枠での選抜の判定も行います。</p>
応用化学コース	
土木環境工学コース	
コンピュータ理工学コース	
機械工学コース	
メカトロニクスコース	
電気電子工学コース	

② 選抜期日・場所

期日：2023年11月18日（土）

場所：山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市武田4-4-37）

コース	集合時刻	集合場所	検査
クリーンエネルギー化学コース	9:00	甲府東キャンパス T-1号館 T1-32	小論文・面接
応用化学コース	9:00	甲府西キャンパス 総合研究棟 1階ロビー	小論文・面接
土木環境工学コース	9:00	甲府東キャンパス T-1号館 T1-11	小論文・面接
コンピュータ理工学コース	9:00	甲府東キャンパス A-2号館 A2-21	小論文・面接
機械工学コース	9:00	甲府東キャンパス A-2号館 A2-12	小論文・面接
メカトロニクスコース	9:00	甲府東キャンパス T-1号館 T1-22	小論文・面接
電気電子工学コース	9:00	甲府東キャンパス T-1号館 T1-12	小論文・面接

* 試験終了時刻は受験者数により変わります。

③ 検査内容

コース	検査	検査内容
クリーンエネルギー化学コース	小論文	化学に関する素養を問う設問を通して「化学の基礎知識」及び「思考力・判断力・表現力」を評価します。
	面接*	化学への関心の高さ、目的意識、学習意欲、理解力、コミュニケーション能力に基づいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
応用化学コース	小論文	化学に関する素養を問う設問を通して「化学の基礎知識」及び「思考力・判断力・表現力」を評価します。
	面接*	化学への関心の高さ、目的意識、学習意欲、理解力、コミュニケーション能力に基づいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
土木環境工学コース	小論文	科学・技術に関する講義を行い、その内容に関する問いを出題し、評価します。
	面接*	「多面的・総合的な評価のための申告書」、「調査書」を参考に、志望動機、学習意欲、適性を総合的に評価します。
コンピュータ理工学コース	小論文	数学・物理・英語の基礎学力に関する内容を出題し、基礎学力を評価します。
	面接*	回答の明確さ、論理の正しさ、意欲、独自性を総合的に評価します。
機械工学コース	小論文	科学・技術に関して出題し、技術者としての思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。なお、英語の素養を見る課題を含むことがあります。
	面接*	機械工学への関心の高さ、学習意欲、知的好奇心、理解力、コミュニケーション能力に基づいて評価します。
メカトロニクスコース	小論文	科学・技術に関する内容を出題し、論理的思考を評価します。
	面接*	「多面的・総合的な評価のための申告書」、「調査書」を参考に、論理的思考、回答の明確さ・正確さ（コミュニケーション能力）、意欲・適性を総合的に評価します。
電気電子工学コース	小論文	電気電子工学に関して出題し、論理的思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。
	面接*	「多面的・総合的な評価のための申告書」、「調査書」等を参考に、論理的な説明力、人物像、適性を総合的に評価します。

*女子枠の志願者には提出された「志望理由書」に基づく面接も行い、男女ともに輝ける社会を創造するために工学系出身者が貢献すべきことや、ダイバーシティの視点で大学で学ぶべきこと、身に付けたいことなどに関する考えについて評価します。

④ 配 点

コース	調査書	多面的・総合的な 評価のための申告書	志望理由書*	小論文	面接	合計
クリーンエネルギー化学 コース 応 用 化 学 コース 土 木 環 境 工 学 コース コンピュータ理工学 コース 機 械 工 学 コース メカトロニクス コース 電 気 電 子 工 学 コース	50	適否	適否*	200	100	350

*女子枠志願者のみ

(3) 総合型選抜 I

① 選抜方法・合否判定基準

クリーンエネルギー化学コース 応用化学コース	「調査書」、面接、「多面的・総合的な評価のための申告書」、化学に関する口頭試問、ならびに選抜当日に課す化学実験に関する課題による結果を総合して判定します。合格ライン上に総合評価点が同点の者がいる場合は、同点者すべてを合格者とします。ただし「多面的・総合的な評価のための申告書」または面接の評価が合格判定基準を満たしていない者は不合格とします。
土木環境工学コース コンピュータ理工学コース 機械工学コース メカトロニクスコース 電気電子工学コース	「調査書」、面接、「多面的・総合的な評価のための申告書」、物理に関する口頭試問、ならびに選抜当日に課す物理に関する課題による結果を総合して判定します。合格ライン上に総合評価点が同点の者がいる場合は、同点者すべてを合格者とします。ただし、「多面的・総合的な評価のための申告書」または面接の評価が合格判定基準を満たしていない者は不合格とします。

② 選抜期日・場所

期日：2023年10月21日（土）

場所：山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市武田4-4-37）

コース	集合時刻	集合場所	検査
クリーンエネルギー化学コース	9:00	甲府西キャンパス 総合研究棟 1階ロビー	面接・その他
応用化学コース	9:00	甲府西キャンパス 総合研究棟 1階ロビー	面接・その他
土木環境工学コース	9:00	甲府東キャンパス A-2号館 1階ロビー	面接・その他
コンピュータ理工学コース	9:00	甲府東キャンパス A-2号館 1階ロビー	面接・その他
機械工学コース	9:00	甲府東キャンパス A-2号館 1階ロビー	面接・その他
メカトロニクスコース	9:00	甲府東キャンパス A-2号館 1階ロビー	面接・その他
電気電子工学コース	9:00	甲府東キャンパス A-2号館 1階ロビー	面接・その他

*試験終了時刻は受験者数により変わります。

③ 検査内容

コース	検査	検査内容
クリーンエネルギー化学 コース 応用化学 コース	面接 (口頭試問を含む)	面接では目的意識、学習意欲、論理的思考力、コミュニケーション能力を総合的に判定します。口頭試問では化学に関する基礎知識を評価します。
	その他	化学実験に関する基礎的な技術や技能、実験結果に対する観察力、データ処理能力などに加え、論理的思考力、考察力、表現力を評価します。
土木環境工学 コース コンピュータ理工学 コース 機械工学 コース メカトロニクス コース 電気電子工学 コース	面接 (口頭試問を含む)	面接では目的意識、学習意欲、論理的思考力、コミュニケーション能力を総合的に判定します。口頭試問では物理に関する基礎知識・興味を総合的に評価します。
	その他	物理に関する基礎的な技術や技能、実験結果に対する観察力、データ処理能力など物理に関する知識・技能・応用力を総合的に評価します。

④ 配点

コース	調査書	多面的・総合的な評価 のための申告書	面接 (口頭試問を含む)	その他	合計
クリーンエネルギー化学 コース 応用化学 コース	20	適否	50	30	100
	【その他】化学実験に関する課題を評価します。				
土木環境工学 コース コンピュータ理工学 コース 機械工学 コース メカトロニクス コース 電気電子工学 コース	20	適否	50	30	100
	【その他】物理に関する課題を評価します。				

(4) 総合型選抜 II

① 選抜方法・合否判定基準

クリーンエネルギー化学コース 応用化学コース	「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、大学入学共通テストの得点を総合して判定します。ただし、大学入学共通テストの化学の得点が大学入試センターが公表する平均点未満の場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
土木環境工学コース	「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、大学入学共通テストの得点を総合して判定します。ただし、大学入学共通テストの受験した理科2科目の両方の得点がいずれも、大学入試センターが公表するその科目の平均点未満の場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
コンピュータ理工学コース	「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、大学入学共通テストの得点を総合して判定します。ただし、判定に用いる大学入学共通テストの得点の本学科の検査の配点による合計が、大学入試センターが公表するそれぞれの科目の平均点を同様に合計した点の1.1倍未満の場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。ただし、数学重視型と英数理バランス型（一般）で同点者がいる場合は、数学重視型の者を上位者とします。
機械工学コース	「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、大学入学共通テストの得点を総合して判定します。ただし、判定に用いる大学入学共通テストの得点の本学科の検査の配点による合計が、大学入試センターが公表するそれぞれの科目の平均点を同様に合計した点の1.1倍未満の場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
メカトロニクスコース	「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、大学入学共通テストの得点を総合して判定します。ただし、判定に用いる大学入学共通テストの得点の本学科の検査の配点による合計が、大学入試センターが公表するそれぞれの科目の平均点を同様に合計した点の1.1倍未満の場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。ただし、理科重視型（物理）と数学重視型で同点者がいる場合は、理科重視型（物理）の者を上位者とします。
電気電子工学コース	「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、大学入学共通テストの得点を総合して判定します。ただし、理科重視型（物理）では大学入学共通テストの物理の得点が大学入試センターが公表する平均点未満の場合、数学重視型では大学入学共通テストの数ⅠAと数ⅡBの両方の得点がいずれも大学入試センターが公表するその科目の平均点未満の場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。ただし、理科重視型（物理）と数学重視型で同点者がいる場合は、理科重視型（物理）の者を上位者とします。

② 選抜期日・場所

来学の必要はありません。

③ 検査内容

コース	検査	検査内容
クリーンエネルギー化学コース 応用化学コース 土木環境工学コース コンピュータ理工学コース 機械工学コース メカトロニクスコース 電気電子工学コース	書類	「多面的・総合的な評価のための申告書」により、高等学校等内外での活動への取り組みや取得した資格などから、向上心や主体性、協働性などを評価するとともに、本学科と各コース等のアドミッションポリシーの理解と本学で学ぶ意欲があり、将来への展望が明確であるかを評価します。

④ 配 点

* () は選択科目の配点を示します。

コース	型	大学入学共通テスト						個別学力検査等				合計	
		国	地歴	公民	数	理	外	計	小	面	他		計
クリーンエネルギー化学 コース	㊦	-	-		(150)	300 (150)	(150)	600	-	-	適否	-	600
	<p>*㊦化 (300) は必須。 *㊦数 I A、数 II B、物、生、英の 5 科目を各 150 点満点に換算し、合計得点の最も高くなる 2 科目に化 (300) を加えた計 (600) を利用します。 【他】「多面的・総合的な評価のための申告書」(適否) を評価します。</p>												
応 用 化 学 コース	㊦	-	-		(150)	300 (150)	(150)	600	-	-	適否	-	600
	<p>*㊦化 (300) は必須。 *㊦数 I A、数 II B、物、生、英の 5 科目を各 150 点満点に換算し、合計得点の最も高くなる 2 科目に化 (300) を加えた計 (600) を利用します。 【他】「多面的・総合的な評価のための申告書」(適否) を評価します。</p>												
土 木 環 境 工 学 コース	㊧	-	-	-		600	-	600	-	-	適否	-	600
	<p>*㊧物、化、生の 3 科目のうち選択した 2 科目を各 300 点満点に換算し、計 (600) を利用します。 【他】「多面的・総合的な評価のための申告書」(適否) を評価します。</p>												
コンピュータ理工学 コース	㊨	-	-		600	-	-	600	-	-	適否	-	600
	㊩	-	-		200	200	200	600	-	-	適否	-	600
	<p>*㊨数 I A、数 II B の 2 科目を各 300 点に換算した計 (600) を使用します。 *㊩数 I A (100)、数 II B (100)、英語 (200) は必須。 *㊩物、化、生の 3 科目のうち選択した 2 科目を各 100 点満点に換算し、数 I A (100)、数 II B (100)、英 (200) を加えた計 (600) を利用します。 【他】「多面的・総合的な評価のための申告書」(適否) を評価します。</p>												
機 械 工 学 コース	㊪	-	-		200	200	200	600	-	-	適否	-	600
	<p>*㊪数 I A (100)、数 II B (100)、物 (100)、英語 (200) *㊪化、生のうち選択した 1 科目を 100 点満点に換算し、数 I A (100)、数 II B (100)、物 (100)、英 (200) を加えた計 (600) を利用します。 【他】「多面的・総合的な評価のための申告書」(適否) を評価します。</p>												
メカトロニクス コース	㊫	-	-	-		600	-	600	-	-	適否	-	600
	㊬	-	-		600	-	-	600	-	-	適否	-	600
	<p>*㊫物 (300) は必須。 *㊫化、生のうち選択した 1 科目を 300 点満点に換算し、物 (300) を加えた計 (600) を利用します。 *㊬数 I A、数 II B の 2 科目を各 300 点に換算した計 (600) を使用します。 【他】「多面的・総合的な評価のための申告書」(適否) を評価します。</p>												
電 気 電 子 工 学 コース	㊭	-	-	-		600	-	600	-	-	適否	-	600
	㊮	-	-		600	-	-	600	-	-	適否	-	600
	<p>*㊭物 (300) は必須。 *㊭化、生のうち選択した 1 科目を 300 点満点に換算し、物 (300) を加えた計 (600) を利用します。 *㊮数 I A、数 II B の 2 科目を各 300 点に換算した計 (600) を使用します。 【他】「多面的・総合的な評価のための申告書」(適否) を評価します。</p>												

9. 受験上の注意

- (1) 机の上には、鉛筆又はシャープペンシル（芯はHB又はBの黒色に限る）、鉛筆キャップ、プラスチック製の消しゴム、定規（三角定規を除く）、コンパス、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋や箱から中身だけ取り出したもの）のみ置いて使用することができます。なお、これらのものを大学で貸出はいたしません。
- (2) 試験前日の14時～16時は試験場の下見を認めます。ただし、下見は建物入口までとし、建物内の下見は認めません。
- (3) 課せられた試験を1つでも受験しなかった場合、受験した全試験の成績を無効とします。
- (4) 不正行為*を行った場合、その場で受験の中止と退室を指示し、受験した全試験の成績を無効とします。
- (5) 受験票に表示された試験場以外では、いかなる理由があっても受験できません。
- (6) 遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。なお、試験場に向かう途中の事故または公共交通機関の遅延等によるやむを得ない場合はこの限りではありません。やむを得ない事情で遅刻する場合は、集合時刻までに教学支援部入試課（TEL：055-220-8046）に電話してください。
- (7) 自動車等による入構はできません。電車・バス等の公共交通機関を利用してください。
- (8) 試験実施が困難になるような不測の事態（地震・大雪等）が発生した場合、ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/9604>）に対応措置等を掲載します。
- (9) 出願後から試験当日までに、連絡事項等をホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>）に掲載する場合がありますので、試験の前に必ず確認してください。

*不正行為

- Web登録情報、出願書類、受験票、解答用紙等へ故意に虚偽の記入（Web出願サイトに本人以外の顔写真を登録すること、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入すること等）をすること
- Web出願サイトに顔面や身体部分を明らかに加工した顔写真を登録すること
- カンニング（試験に関係するメモやコピー等を机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること
- 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること
- 配付された問題用紙を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと
- 解答用紙を試験室から持ち出すこと
- 「解答はじめ」の指示の前に、問題を見たり解答を始めたりすること
- 試験時間中に、使用を許可されていない補助具を使用すること
- 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること
- 「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること
- 試験時間中に携帯電話や時計等の音を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること
- 試験時間中に、使用を許可されていない補助具、電子機器類や書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること
- 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
- 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
- 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと
- その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること

10. 合格者発表

(1) 合格者発表

推 I 2023 年 12 月 8 日 (金) 16 時頃

総 I 2023 年 11 月 1 日 (水) 16 時頃

総 II 2024 年 2 月 13 日 (火) 16 時頃

- ホームページ (https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list) に合格者の受験番号を掲示します。
- 合格者に合格通知書を、高等学校長に選考結果通知書を郵送します。
合格通知書及び選考結果通知書には、原則 Web 出願サイトに登録された氏名を使用します。
- 大学構内での掲示は行いません。また、電話等による可否の照会には応じません。
- 本学では可否電報の受け付けは一切行っておりません。また、そういった行為を団体・個人に委託することはありません。可否電報に関するトラブル等が発生しても本学では責任を負いません。
- 学校推薦型選抜 I と総合型選抜 I では、合格者に対して入学前教育を実施します。

11. 入学手続

2024 年 2 月 14 日 (水) ~ 2024 年 2 月 19 日 (月)

- 期間内に入学手続を完了しなかった方は、入学の意志がなく入学を辞退したものとみなします。ただし、注意事項*③④に注意してください。
- 入学手続の詳細は Web 出願サイトに登録されたメール又は住所に通知します。
- 入学時の主な必要経費は次のとおりです。なお、金額は変更することがあります。
 - ・ 入学金 282,000 円【予定】
 - ・ 授業料 年額 535,800 円 (前期 267,900 円・後期 267,900 円)【予定】
 - ・ 後援会費・同窓会費・学友会費等
50,000 円 (後援会費・同窓会費・学友会費等、4 年分)【予定】
 - ・ 学生保険保険料 (学生保険への全員加入を本学の方針としています)
- 入学金・授業料の免除又は徴収猶予については、ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/campuslife/345>) を参照してください。

*** 注意事項**

- ① 不合格となった場合に備えて、学校推薦型選抜・総合型選抜に出願した方でも、国公立大学の一般選抜（前期日程・後期日程からそれぞれ1つ）に出願することができます。また、総合型選抜Ⅰに出願し、不合格となった方でも、総合型選抜Ⅱに出願することができます。本学の他の選抜に出願する場合、該当の募集要項を確認の上、出願してください。なお、入学検定料の免除はありません。
* 公立大学協会ホームページ (<https://www.kodaikyo.org/>) 参照
- ② 学校推薦型選抜・総合型選抜に合格した方は、本学及び他の国公立大学を受験しても入学許可は得られません。ただし、特別の事情により、高等学校長等から「入学辞退願」が提出され、本学学長が2024年2月19日（月）16時【厳守】までに入学辞退を許可した場合を除きます。
- ③ 学校推薦型選抜・総合型選抜に合格し入学手続した方は、これを取り消して、他の国公立大学の入学手続をすることはできません。
- ④ 学校推薦型選抜・総合型選抜に合格し入学手続した方が、当該高等学校等を卒業できなかった場合は、入学許可を取り消します。
- ⑤ 学校推薦型選抜について、入学の確約に違約した場合及び出願書類に虚偽の記載が判明した場合は、次年度以降当該学校からの推薦を受理しないことがあります。
- ⑥ 入学手続には本学受験票及び大学入学共通テスト受験票（総合型選抜Ⅱの合格者）の提出が必要となりますので、受験後も大切に保管してください。

12. 個人情報の取扱い

「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人山梨大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づき、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査、⑤今後の入学者選抜方法検討や志願動向の分析、大学教育の改善に関する調査・研究、⑥合格者に対する入学前教育及び入学前イベントを行うために利用します。なお、これらの調査・分析結果を公表する際は、個人が特定されないような形に処理します。
- (2) 入学者については、知り得た個人情報を、①教務関係（学籍・修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 国公立大学における一般選抜の合格者決定業務を円滑に行うため、可否及び入学手続に関する個人情報（氏名、性別、生年月日、高等学校等コード、大学入学共通テスト受験番号）が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (4) 上記業務の利用にあたり、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（受託業者）において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、受託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
- (5) 個人情報及びプライバシー情報保護のため、選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行わないことに加え、法令等により開示を求められた場合等を除き、第三者に開示することはありません。

13. その他の留意事項

* 出願状況の情報提供について

出願期間後、出願状況をホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list）に掲載します。

14. 入学試験における感染症対応

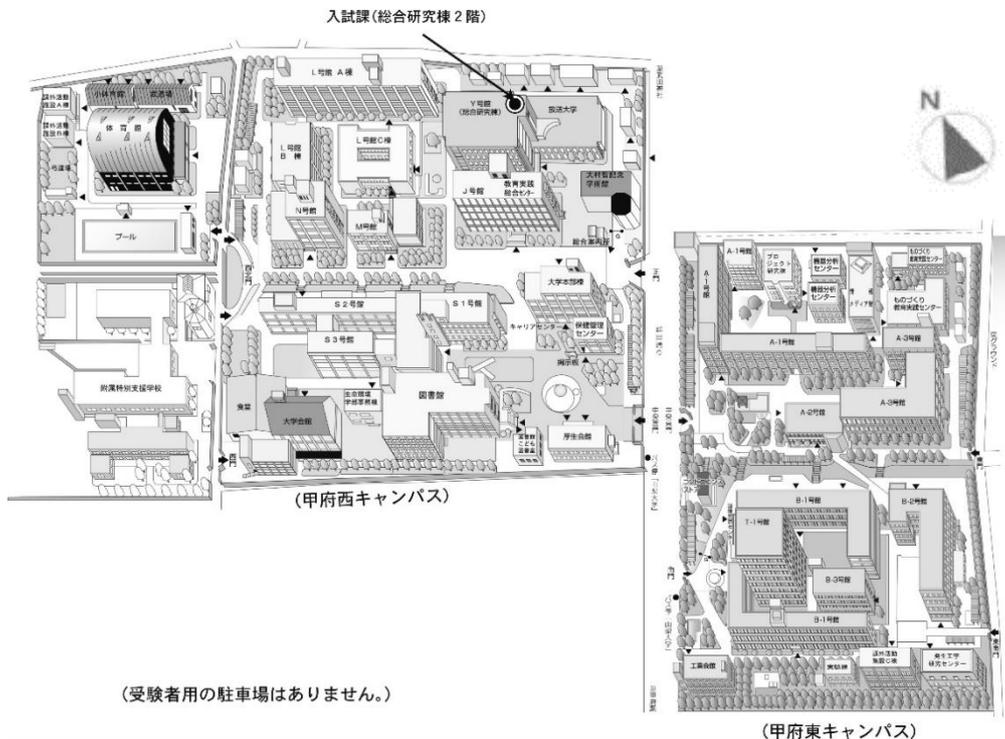
入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘等）に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので、万全の態勢で試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。

ただし、この取扱いを変更する場合は、本学ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list）にてお知らせします。

15. 甲府キャンパス案内図

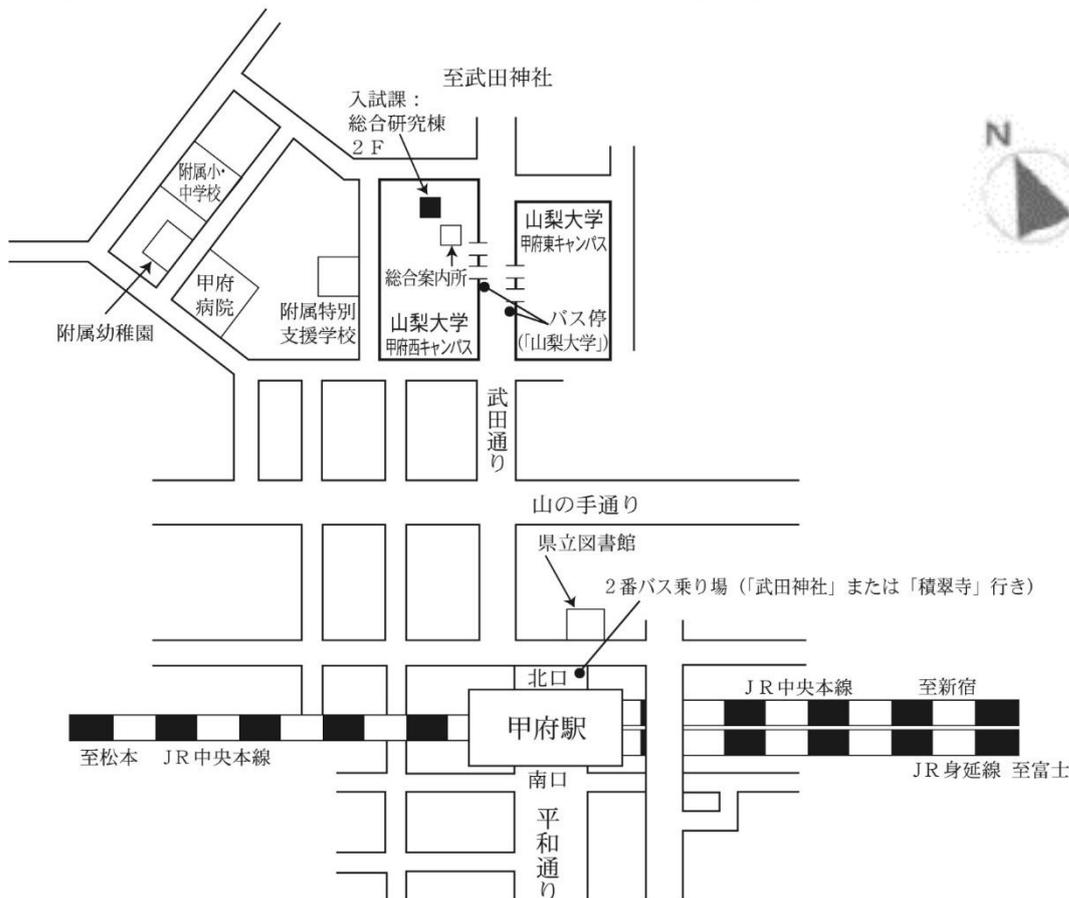
所在地 〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37

甲府キャンパス建物配置図



甲府キャンパス周辺図

J R 甲府駅下車、北口から徒歩約 15 分
 J R 甲府駅下車、北口からバスで約 5 分 (「武田神社」又は「積翠寺」行き) バス停「山梨大学」下車



(学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜)

受験番号
※大学側で記入します。

多面的・総合的な評価のための申告書

氏名

出身学校名

志望先

学部

課程

コース

学科

系・プログラム

(教育学部 学校推薦型選抜Iのみ)

- ① 高等学校等に入学してから現在までの学校内外の諸活動（ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験、資格取得など、主な活動実績）と、そこから学んだことを記入してください。

- ② 上記志望先の志望理由、入学後に学びたい内容とその計画、大学卒業後の目標を記入してください。

受験番号
※大学側で記入します。

学 校 長 推 薦 書

作成日 年 月 日

山梨大学長殿

学校名

学校長氏名

職印

下記の者を、貴学工学部工学科の学校推薦型選抜 I 志願者としてふさわしい者と認め、出願資格を満たすことを確認し、責任をもって推薦します。なお下記の者は、本年度において、国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、貴学工学部工学科のみで、合格した場合の入学を確約します。

記

氏名

年 月 日 生

年 月 日 卒業 卒業見込

選抜区分

A 一般枠 B 女子枠

出願する選抜枠
(一つ又は二つ)の記号を
○で囲んでください

志望コース

コース

学習成績の状況

(文部科学省大学入学者選抜実施要項「調査書記入上の注意事項等について」
に基づき算出し、記入してください。)

全 体

理 科

推薦理由 (志望コースで学ぶ適性・意欲があると認められる理由を、できるだけ客観的・具体的に記載してください。)

記載責任者

印

志望理由書

氏名

出身学校名

志望コース

コース

男女ともに輝ける社会を創造するために工学系出身者が貢献すべきことや、ダイバーシティの観点から大学で学ぶべきこと、身に付けたいことなどに関する考えについて記入してください。

問い合わせ

山梨大学 教学支援部 入試課

住所	〒400-8510 山梨県甲府市武田 4 丁目 4-37
TEL / FAX	055-220-8046 / 055-220-8795
メール	nyushi@yamanashi.ac.jp
ホームページ	https://www.yamanashi.ac.jp
Web 出願サイト	https://syutugan.yamanashi.ac.jp
窓口対応時間	平日(月～金) 8:30～12:00・13:00～17:15 *土・日・祝日、年末年始(12/29～1/3)を除く